

2023年8月26日

関係各位

「肺炎球菌の基礎と臨床：e-learning コンテンツ」のご案内

拝啓 立秋のみぎり、皆様には益々ご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、私どもは臨床上の「肺炎球菌感染症の重要性」に注目し、長期にわたって i) 化膿性髄膜炎サーベイランス研究(2000年～2016年)、および ii) 侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)サーベイランス研究(2006～2016年度)を実施、研究成果として公表してまいりました。

これらのサーベイランスには、皆様方のご所属する医療機関において当時ご活躍なされていた検査技師の諸先輩、ならびに当時在職されておられた臨床医の先生方に多大なるご協力をいただきました。そのようなご尽力なくして、世界に通用する疫学研究をわが国から世界へ発信することは出来なかったと思います。その後、幸いにも「助成金」を得ることができたことから、当方に蓄積された貴重なデータを皆様方に広くお役立ていただこうと考えた次第です。

この度、その集大成として「肺炎球菌における莢膜の存在とその型別の重要性」と題した e-learning 用の動画を作製、啓発活動の一環として公開する運びとなりました。それぞれの動画は 30 分程度にまとめてあります。細菌検査技師の皆様、ならびに感染症にご興味のある研修医を含めた多くの臨床医の先生方にご紹介いただければ幸いです。

末筆ながら皆様方の益々のご活躍を期待しております。

敬具

e-learning コンテンツ

『肺炎球菌における莢膜の存在とその型別の重要性』

- ① **基礎編**：肺炎球菌ワクチン(PCV)導入後に激変した肺炎球菌の検査と病原因子としての莢膜を解説しています。

<https://vimeo.com/855271389/24a6147da6>

QRコード



- ② **疫学編 -小児-**：PCV 定期接種化による重症感染症、髄膜炎、AOM に対する予防効果の詳細と将来の課題を解説しています。

<https://vimeo.com/855273215/9a944e56b8>



- ③ **疫学編 -成人-**：小児への PCV 導入後の「集団免疫効果」による成人重症感染症の変化と問題点を解説しています。

<https://vimeo.com/855273310/eec893262b>



追伸：

近い将来、13価PCVの後継として15価PCV(承認済み)、あるいは20価PCV(申請中)が小児ならびに成人に対して承認され、広く普及していくことが予測されます。

ワクチン効果を正確に把握するためには以下の3項目を踏まえたサーベイランスがぜひとも必要となります。

全国規模のサーベイランスがなぜ必要か？

- 1) 世界の疫学データと比較するためには、全国を網羅したサーベイランスが必要である。都心部と地方では人口の年齢分布が偏り過ぎ正確なデータとはならない。
- 2) 収集株にはグローバルに比較できる精度の高い**動態分子疫学(Dynamic Molecular Epidemiology)**の解釈が必須である。世界と同じ基準に立たなければ、世界に発信できる論文とならない。
- 3) 同時に、発症例の病態解析、すなわち i)発症に至る経緯、ii)基礎疾患の詳細、iii)治療と予後等の解析がぜひとも必要である。これらの解析なしではサーベイランスの意義は極めて乏しいものとなる。

今後につきましては、東京医科大学微生物学分野の大楠清文教授、虎の門病院呼吸器センター内科医長の花田豪郎先生、名城大学薬学部輪島丈明准教授を中心とした「**全国サーベイランス**」を考えております。その際には改めてご連絡申し上げますのでご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

慶應義塾大学医学部総合診療教育センター
東京医科大学微生物学分野
客員研究員 生方 公子
東京医科大学微生物学分野
兼任教授 岩田 敏